

活動報告

1. 役員会

第2回理事会を2013年3月に開催するため現在、日程を調整しています。同理事会では平成25年度の事業計画および予算等の審議を行う予定です。

なお、ホームページに平成23年度財務諸表、事業報告書、平成24年度事業計画書、予算書などを掲載しています。

(<http://www.iti.or.jp/jigyou.htm>)

2. 最近のプロジェクト・調査研究活動から

(1) 平成24年度の各種調査研究プロジェクトが順調に進んでいます。
主な活動事例は次のとあります。

1) 国際貿易投資研究会

- ・9月26日(月) 一橋大学国際経済研究課 梶田朗氏報告「世界の貿易ルール形成の動向」(於ITI会議室)
- ・10月22日(月) 一橋大学名誉教授 山澤逸平氏報告「サービス貿易自由化の現状と課題」

他(於ITI会議室)

2) 「ASEAN中国FTA(ACFTA)の運用実態」現地調査

ACFTAの運用実態調査のため、高橋俊樹研究主幹が9月6日~14日、関係4カ国(シンガポール、インドネシア、タイ、中国)を訪問しました。各地では現地政府及び日系企業関係者と意見交換をした他、次のとおり講演を行いました。

- ・9月7日(金) ジエトロ・シンガポール主催「ACFTAの運用実態と活用方法」
- ・9月10日(月) ジエトロ・ジャカルタ主催「Implementation and Outline of the ACFTA」(ASEAN事務局及びERIA(東アジア・ASEAN経済研究センター)スタッフ対象)
- ・9月12日(水) ジエトロ・バンコク主催「ACFTAの運用実態と活用方法」

3. 調査研究報告書など

(1) 調査研究報告書

「世界主要国の直接投資統計集（2012年版）Ⅰ. 概況編」（頒布価格10,000円）を10月に刊行しました。世界の直接投資動向を俯瞰し各国比較が可能な直接投資の推移等を取りまとめています。ご希望の方は事務局（担当：山本）までご連絡ください。

また、当研究所の各種調査研究報告書・統計書はホームページの「最近の研究業績」

（<http://www.iti.or.jp/reports.htm>）に掲載していますので、ご参照ください。

(2) ホームページ

ホームページに掲載した最近の「フラッシュ」記事は次のとあります。

155. 不可解な TPP 反対論

156. イタリアの年金制度改革～年金天国から年金煉獄へ

157. ユーロ支援を躊躇するドイツ

158. ロンドン五輪での中国のプレゼ

ンス

4. 所外活動など

講演活動を次のとおり実施しました。

1) 石川幸一客員研究員

8月 日本アセアンセンター「ASEAN 経済共同体の過去・現在・未来」

9月 三鷹市民大学「TPP 参加問題を考える」

10月 中小企業基盤整備機構海外展開フェア「2015年の ASEAN：巨大市場が誕生する」

2) 江原規由研究主幹

9月 15、16日 国際日本文化研究センター「万国博覧会とアジア」（パネリスト参加）

3) 高橋俊樹研究主幹

10月 19日 小石川ロータリークラブ「TPP、日中韓 FTA、などの動きと企業への影響」

（小林東策）